



雄飛

校訓

考える人 心豊かな人 たくましい人

霧島市立国分南中学校

学校便り1月1号

令和8年1月16日発行

丙午 情熱・変化・成長・挑戦

校長 平國弘明(ひらくに こうめい)

天気に恵まれたうえに冷え込みもあまり厳しくないという穏やかな正月を迎え、2026年、令和8年がスタートした。今年の干支(えと)は、丙午(ひのえうま)。十二支(じゅうし)が午(うま)、十干(じゅつかん)が丙である。十二支はなじみがあっても、十干はあまりに耳にしないという人もいるのではないだろうか。十干とは、甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸の10の要素の順列をいい、今の数字のようなものである。古代中国で生まれた。おおまかにいうと、10日間を一区切りにして、その10日間の1日1日に名前を割り付けたものである。10日を一区切りにするという考え方は、日本にも伝わっている。今でも、1カ月を10日ごとに区切って、月の上旬、中旬、下旬という言い方をすることはみんなが知っている通り。十干単体で使われることはなく、十二支と合わせて干支(「かんし」または「えと」といって、暦の表示などに用いられている。なので、今年の干支は何かと問われ、「午(うま)」というのは正確ではなくて、「丙午」というのが正しい干支ということである。午年は12年ぶりだが、丙午は60年ぶりということになる。

丙午は、「情熱や変化を象徴し、エネルギーに満ちた年とされる。物事を大きく広げ、新しい挑戦に良い結果をもたらすチャンスの年」と言われている。大いに挑戦し、皆に飛躍の年としてもらいたい。

一方、国際情勢は、不安定さを見せている。アメリカ軍によるベネズエラ攻撃、イラン大規模抗議デモ、グリーンランド領有権問題、長引くロシアによるウクライナ侵攻、予断を許さないイスラエルとパレスチナなどの中東紛争など。日本も経済など大きな影響を受け、それも長引いている。

右は、始業式で紹介した大伴家持(おおともいやかもち)の和歌で、彼が中心となって編纂した万葉集の最後、4,516番目に掲載されている。お正月、真っ白に降り積もる雪を眺めながら詠まれたものであるが、新しい年の初めを祝い、その年の平安を祈る和歌として、昔から正月にふさわしく縁起がいいとされてきた。

この頃の家持は都から離れた因幡国の国守となるものの、それは家持にとっては喜ばしいものではなかったようで、宴席で、将来の幸を祈って詠んだ、ことほぎ(祝いのことばを述べる)の歌と考えられています。また、その頃の世は、権力争いや疫病の大流行などけつして穏やかではなかったようです。そこで、この和歌は、日本中のすべての人の祈っているのではないかとも言われている。

自分や自國のことのみではなく、ここに生きている人々すべてが穏やかに過ごすことができる世の中になることを願わずにはいられません。それはそれがそうなるように互いに理解を深め、自分のことは自分で責任を持つという独立自尊の気持ちをもって、日々自分を磨き、高めていくことが大切ではないかと思う。

2026年、令和8年。エネルギー溢れる南中で、みんなで、最高の結果を出そう！

Unity brings us victory.

参考 櫻杉本カレンダーHP、「一日一首 万葉集」花井しおり著

新しき
年の初めの初春の
今日降る雪の
いや重け吉事
大伴家持

(口語訳)新しい年の初めであり、
初春でもある今日という日は、
降り積もる雪のように、益々重
なっていきますように。たくさん
のよいことが。

鹿児島学力・学習状況調査実施

1年生が1月15
16日の2日間で



既に実施済み、2年生は来週20、21日の両日に実施予定の鹿児島学力・学習状況調査。この調査の趣旨は、「質問調査により、調査対象者の学習に関する意識や学び方などの学習状況について調査ものである。学習指導要領において身に付けることが求められている知識及び技能や思考力、判断力、表現力等に関する学力の状況を把握するとともに、児童生徒の学習に関する意識などの学習状況、学校の取組状況を把握する。」と示されている。

この調査の結果から学習状況及び授業の在り方等の課題や改善点が把握できると考えられ、この結果を個人でも学校でも分析し、それらをより良い学びを構築していくために有効に活用していくことが求められている。

なお、各学年の調査日に欠席した生徒については、放課後等(1年生は19日～23日、2年生は22日～27日)を用いて調査を行うことができるよう準備している。それ以降は実施ができない状況となる。大切な調査である。体調管理をしっかりとして受検できるようにしよう。

私立学校等の入試始まる

1月11日から県外においては私立高校等の入試が始ま

った。県内については、23日の樟南第2、れいめい、鹿児島修学館、鹿児島育英館、鹿児島純心、大口明光、鹿屋中央、出水中央、龍桜を皮切りに21校の私立高校で入試が行われ、本校の3年生は県内の14校、県外の5校に、のべ227名が挑む。

全国的な傾向だが、県内においても、私立への進学希望者年々増加し、昨年度の私立高校への入学者数の割合は、高校進学者の約34%と報告されている。志望者が増えるということは、合格の難易度が上がっているということでもある。

3年生にとっては、大変な時期ではあるが、受験を経験することは結果如何に関わらず、人生にとって重要な学びの場とも言える。

体調には十分に気をつけ、万全の態勢で試験に臨めるように努めてもらいたい。

もう一息
もう一息と、うつぱつては
何事もものにならない
もう一息
それにつかつてもう一息
それにも打ち克つて
もう一息
もう一息
もうだめだ
それをもう一息
勝利は大変だ
だがもう一息

[令和8年2月の主な行事予定]

3日(火)全校集会、第3回学校保健委員会、第2回給食運営委員会 5日(木)学年末テスト前部活停止～12日

10日(火)学年末テスト～12日 11日(水)建国記念の日、ふるさと霧島カルタ選手権

14日(土)土曜授業、2年立志講話 16日(月)キャリア教育強調週間～20日、3年キャリパス記入期間～20日

18日(水)第3回市生活指導研究協議会、第3回校外生活指導連絡協議会

19日(木)特別支援学級入級説明会・面談会、第2回小中連携推進委員会

20日(金)授業参観、学年末PTA、市P連役員会

21日(土)週休日、霧島市しごと維新「10年後の自分探し」、市福祉健康まつり 23(月)天皇誕生日

24日(火)生徒集会、1・2年キャリパス記入期間～27日 26日(木)PTA総務委員会

※ あくまでも予定ですので、変更等が生じる可能性があることを予め、了解ください。